

むらまち通信

第119号

2013年6月10日 発行



「散策路の木橋架け作業」を行いました。



○ 実施状況

- ・ 日 時：平成25年6月9日（日） 10:00～15:00
- ・ 場 所：八剣山の麓「石窯パン あゆんぐ」裏の小川
- ・ 橋の規模：主桁延長5.7メートル、幅1.1メートル
- ・ 主 催 者：八剣山果樹園 桜井 学さん
- ・ 参 加 者：6名（桜井、原口、平田、志田、紺谷、塚本）

平成23年9月に実施した八剣山の散策路の調査の時は、八剣山果樹園から八剣山ワイナリーの敷地にかけては、生えている草や倒木を整理することで、散策路として使用できることを確認しました。

これまでの調査で、散策路を越えて高島観光ファームのすぐ近くの道路まで散策できることが確認できましたが途中に小川が流れており、そこに橋を架けて「石窯パン あゆんぐ」の敷地を通ることで、だれでも気軽に八剣山のふもとに広がる林の中を散策することが可能となります。

今回は八剣山果樹園の桜井学さんから、丸太を使った橋を架けるための作業依頼があったところです。

橋を架ける材料は、事前に桜井学さんが準備をしており、主桁となる丸太2本は主桁の形に削られて防腐処理がされていたほか、歩く部分の板についても同じ長さの板が必要枚数用意され、釘の穴も開けられていました。

始めるに当たり、八剣山果樹園から木橋を架ける場所まで歩いて散策路の確認を行いました。木橋をかける位置を確認後、八剣山果樹園に戻り事前に用意されていた主桁用の丸太2本をトラクターで現場まで運びました。1本が150キロもある丸太を全員で引きずりながら対岸に渡し、設置後には水準器を使って正確に丸太の傾斜を調整しました。

主桁用丸太の調整後、散策路の草刈り、枝払い、橋に板を打ち付ける作業に分担して作業を行いました。板の打ち付けは丸太の中心部に板の釘穴を合わせ、板と板の間に1センチほどの間隔を開けてから、ネジ釘でしっかり固定しました。

主桁用丸太を固定する作業については、後日、桜井学さんがアンカーを打ち付けて行うことになりました。



主桁用の丸太を調整



歩く部分の板を打ち付け



木橋を架ける位置の確認



トラクターによる運搬



完成した木橋の上での休憩



発行：塚本むらまち計画研究室
主 宰 塚 本 保 弘

061-1276

北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10

携帯電話：090-7515-7057

E-mail : fhuka@rose.ocn.ne.jp